



# 葉千労働動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043(222)7207 番  
FAX 043(224)7197 番

2001.4.18 No. 5298.

## 第二波ストライキ 拠点支部闘争報告②

### 総武支部

#### 二波のストライキ貫徹した力で

##### 強制配転粉碎へ！

総武支部は3月28日の一波、4月1〜2日の二波ストライキを全組合員の総決起で打ち抜いた。



総武支部は、3月28日ストライキのなか、本部の全員が集合し、今春闘の最大の課題がシニア制度撤廃、検修構内の外注化阻止であり、この春闘を通し、第二の分割・民営化攻撃―「二ユーフロンティア21」と対決してゆく態勢を築くと位置付け、またJR総連解体、組織拡大春闘であることを確認し、討論し意志の一致を勝ち取ってきた。

こうした観点で春闘の終わりでなく、こちらからも要求実現をめざし執拗に闘い続けることも確認された。

集会やスト中、営業職場の抱える問題点や悩みなども話合うことが出来て意義のあるストライキを実感できた。

とにかくストライキ、集会、デモ等々を通し、マスコミも大

々的な報道をするなど、改めておれたち動労千葉の団結力を示すことが出来たし、われわれも大いに元気を充電することが出来た。

この威力をさらに発揮し、強制配転粉碎にもう一步、二歩とせまる必要があると思う。

JR東日本の異常な労務政策も東労組の瓦解的危機の深まりの中で、ピンチに立ち至っている。この目的の動揺と亀裂にむかつて政策を強めよう。

動労千葉の土根性をさらに発揮し、総武支部もがんばることを確認し終了した。

### 鴨川支部

#### 新体制で組織強化を勝ち取る！

四月一日、一〇時より、鴨川支部は勝浦市・民宿神田に結集し、スト突入集会を開催した。

集会は、吉野副支部長の司会で始まり、冒頭挨拶にたつた奈良輪支部長は「今回の第二波ストライキは、シニア制度・構内検修の外注化に反対した闘いであり、勝浦運転区廃止反対闘争以来の本線乗務員も対象となっている、久しぶりのストであり最後まで毅然と闘いぬこう」と力強く組合員へ訴えた。

本部から、君塚副委員長の情勢・ストライキの意義について報告があり、来賓として水野勝浦市議、中村御宿町議、照岡前支部長の挨拶を受けた。

ストライキ中の行動について大藤書記長より細部にわたる指示があり、特にストライキ中であり、厳正に行動してほしいとの要請があった。

集会の議題として、①今後の支部の運営について②運輸区と駅配置者の交流会について③家族会の取り組みについて④組合旅行について⑤物販オルグについて⑥動員体制について等、組合員の活発な議論が展開された。

二日の総決起集会についての行動提起を受けた後、ストライキ明け後の次作業確認の仕方について、集会后DC会館に於いて支部執行部より指示をだす事を確認し、集会終了後は組合員は、何時でも連絡の取れる体制でいることの指示を受け、十六時に集会を終了した。

鴨川支部は、新体制となって初のストライキであり、新支部長を先頭に力強く闘いぬぎ、鴨川支部の存在感を示した闘いであつたといえる。

また、今回の闘争で鴨川支部は、駅配転者と鴨川運輸区間の意思の疎通がはかられ、より一層の団結・組織強化を勝ち取った。

### 館山支部

#### 館山支部一丸で闘い、抜く！

館山支部は、三月三十一日予備、指導員が九時〇五分からストライキに突入したのを始まりに、泊り仕業の乗務員が順次ストに突入した。そして十三時三〇分からは、組合事務所に三五名の組合員が結集してスト突入集会を開催し、第二波ストライキの意義を全体で確認した。

スト突入集会では笹生支部長が、「館山支部は九時五分から指導員、予備がストに突入し、一日から二日は全組合員が、そして三日はまた指導

員、予備がストに突入する。全体で団結して、支部を構築しよう」とあいさつを行った。また本部清水執行委員が今回の闘いの意義を報告し、支部執行部からの行動提起を受けて集会を終了した。三十一日は十二名が先陣をきってストに突入した。

四月一日は三十名がストに入るなか、午前十時から静海荘において支部総決起集会が四七名の組合員の結集で開催された。はじめに笹生支部長から「本日は支部組合員全体でストに突入していることを確認しよう。本部方針のもと団結して闘いぬこう」とあいさつがされ、つづいて本部からシニア・外注化攻撃粉碎と

第二の分割・民営化攻撃との対決にむけた第二波ストの意義と課題の提起を受けた。つづいて支部執行部から行動提起と職場をめぐる諸問題について話し合いがもたれた。また家族会として、本部家族会の企画した潮干狩りに集中することが報告された。集会是最後に笹生支部長の団結ガンバロイで終了した。

四月二日は、三五名がストに突入するなか、労働者福祉センターで開催された動労千葉第二波総決起集会に結集し、デモ、千葉支社へ怒りを叩きつけた。三日には指導、予備など七名がストに立ち上がり四日間の闘争を最後まで貫徹した。